



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISH(03)3 202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題 「信念、愛、行動」
アジア会長主題 「信念と愛を持って行動しよう」
東日本区理事主題 「ワイズのらしさ再発見」
あずさ部部長主題 「垣根を低くし、活発な活動を」
東京西クラブ会長主題 「居心地の良いクラブでワイズライフを楽しもう」

2025 年 11 月号
NO 590

神は光であり、神には闇が全くない。

ヨハネの手紙一第1章5節

千葉ウエストクラブ創立5周年記念例会参加記

神谷 幸男



千葉ウエストクラブ創立5周年記念例会に参加しました。東京西クラブからは4人のメンバーが参加して心強く思いました。

記念例会の様子は千葉ウエストクラブブリテン 11月号にも詳しく書かれていますので、ここで

は参加した感想などを書かせていただきます。

新しい仲間を獲得するに口実など全く必要はないものの、それでも何かご縁があればと“西”に関わるクラブが誕生すると思い、2020年秋、千葉ウエストクラブ

のチャーターナイトに参加して、早や5年の歳月が流れました。この間、数回クラブ例会に参加しましたが、お顔とお名前が一致していない友もまだ多くいて、親しい交わりにはイマイチの感があります。

それでもヘキサゴン DBC の仲間であり東西の友が集う懇親会などでは交流の時も多くありました。今回も焼き鳥屋さんのお座敷での第2部懇親会でも交流できましたことは大変良かったと思います。

千葉ウエストクラブの皆様、5周年記念例会にてお会いすることができて有難うございました。これからももっと機会を作って交流を深めたいと思います。

クラブ役員

会長 神谷 幸男
副会長 本川 悦子
書記 村野 繁
会計 篠原 文恵
担当主事 波々壁 賢

10月の記録

在籍者数	11人	武蔵野多摩	3人	ニコニコ	9,061円
出席者数	10人	たんぽぽ	4人	クラブファン	0円
メーキャップ	1人	ビジター	1人	ファン	44,715円
出席率	91%	ゲスト	2人	ホテルファン	5,178円
ZOOM参加	3人	出席者合計	20人	ホテル残高	16,613円

11月合同例会のご案内

強調テーマ：

今月の卓話は、東京 YMCA 星野太郎総主事をお迎えして、町田からの ZOOM 配信を山手センターで視聴します。

日時：11月20日(木) 18:00～20:00

会場：東京YMCA山手センター 303号室

会費：1,200 円

ミーティング ID：954 355 7863

パスコード：7Uuuaj

今月は開始時間とミーティング ID が変わりますので、ご注意ください。

<https://us06web.zoom.us/j/9543557863?pwd=TWxHYlJYMG0vMXNyZWZicFpzY1JlUUT09&omn=87815756572>

HAPPY BIRTHDAY

クラブ関係者では該当なし

受付：服部・篠原

司会：山口 直樹

開会点鐘 東京武蔵野多摩クラブ 田附 和久
聖書朗読・祈祷

いざ立て斉唱 (1 番のみ) 一同

会長挨拶 東京武蔵野多摩・渡辺大輔会長

ゲスト・ビジター紹介 3 クラブ会長

会食

卓話 「共に未来を描く」

東京YMCA・星野太郎総主事

ハッピーバースデー

ニコニコ 一同

連絡・報告 各担当

閉会点鐘 東京たんぽぽクラブ会長

藤江喜美子

－10月事務会報告－

日時：10月24日(木)

16:30～18:00

会場：阿佐谷地域区民センター

第7集会室

出席者：石井、神谷、河原崎、

篠原、本川、村野絢、

村野繁

<報告事項>

◆10月3クラブ合同例会の報告

◆会計報告、承認

<協議事項>

◆各行事参加者の確認

◆来年(2026年7月)は当クラブ設立50周年となりますが、何か記念になることができるか、また記念誌を発行するにあたり、資料があるかを調べて今後の方針を相談していくことが話し合われた。

今後の行事予定

◆11月23日(日・休)：

第39回大江戸ファミリーウォーク(東京クラブ)

◆11月26日(水)在京12クラブの会(ZOOM)



－10月合同例会報告－

10月16日、3クラブ合同例会は東京山手センターの303教室でした。鑑賞するDVDは上映時間90分ですので、会食をしながら「荒野に希望の灯をともし」を見ました。

2019年、アフガニスタンで水路建設に邁進するなか武装勢力に銃撃されて死去した医師・中村哲の足跡を追ったドキュメンタリー。

アフガニスタンとパキスタンで35年にわたり、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い続けた中村哲医師。現地の人びとにその誠実な人柄が信頼され、医療支援が順調に進んでいた2000年、アフガニスタンの地を大干ばつが襲う。

農業は壊滅し、人びとは渇きと飢えで命を落とす中、中村医師は医療で人びとを救うことに限界を感じる。そこで彼は医療行為のかたわら、大河クナールから水を引き、用水路を建設するという事業をスタートさせる。中村哲の生き様を追った内容でした。

(村野 繁)

出席者<メンバー>山口・渡辺・田附(東京武蔵野多摩)、藤江・小原・服部・望月(東京たんぽぽ)、石井・大野・神谷・河原崎・篠原・高嶋・本川・村野絢・村野繁・波々壁(東京西)、<卓話>DVD鑑賞、<ビジター>関川祐一郎(石巻広域)、<ゲスト>大輪・笹野井、<ZOOM>宮内・江夏・中村(東京武蔵野多摩)

栄村コシヒカリ特別例会



あずさ部や、埼玉クラブ、伊東クラブの他に、大阪長野クラブからも「長野つながり」で2人が参加され楽しい例会になりました

10月25～26日、長野クラブ設立チャーター15周年記念例会として長野と新潟県境にある栄村の中条温泉・トマトの国で約30人が集いました。

12年前の3月12日に発生した栄村を中心とする「長野県北部地震」は、前日の東北大震災のニュースに隠れて詳細が伝わらなかったのですが、長野クラブでは震度6強の地震に襲われた栄村を元気づけようとあずさ部の有志と共に訪問を続けていました。

卓話では、被災時の消防団員や村議会議員のお2人による当時の状況が語られ、3月半ばでも雪の残る現場の被害は大きかったが、直

前に実施された訓練のお蔭ですぐに全員の安否確認ができ、日ごろの交流が生きたことは不幸中の幸いだったそうです。しかし、その後の復興のご苦労は過疎化も相まって東北地方と同じ悩みがあるそうです。

懇親会では魚沼産コシヒカリと同じ水源という美味しいお米と鮎のから揚げなど、地酒と共にご馳走を頂きました。

夜は全館貸し切りで時間に余裕があるので、11時過ぎまで賑やかに交流が続き、翌日は栄村物産館や震災復興祈念館を案内していただき、お土産も買い込みました。JR飯山線の森宮野原駅から



森宮野原駅は無人駅ですが、構内の蕎麦屋さんが集合写真を撮ってくれました

帰る私たちをいつまでも手を振って見送って下さったこと、思い出深い旅になりました。

南北に長いあずさ部の交流は、部会、評議会の都度お互いに遠路を行き交いますが、今回は小旅行になり楽しかったです。

長野クラブの皆様、本当に有難うございました。（篠原文恵）

東京八王子クラブ例会訪問



11月の東京八王子クラブ例会に参加しました。いつもの例会は八王子北野事務所で行われているのですが、今回は八王子市諏訪町にある八王子ベテル教会が会

場でした。八王子駅からバスで30分足らず、景色をきよろきよろ見ながら乗っていたので、遠いと感じませんでした。

会場の教会は白くて可愛らしい建物でした。13時に長谷川会長の開会点鐘で例会が始まりました。美味しいお弁当、ベテル教会の牧師先生の心のこもったコーヒーをいただいてから卓話が始まりました。

お話は甲府21クラブのメンバー・後藤哲夫さんです。「日本で

の百年一カナダメソジスト教会の歩み」と題してお話しされました。

日本での伝道、布教にかかわった方たちの苦労などをお話しされました。最後に、愛唱される子ども讃美歌「主われを愛す」が流れたときは、小学校の時に通っていた日曜学校を思い出してロずさんでしまいました。

帰りは八王子駅まで山本さんに送っていただきました。実りのあった例会でした。（本川悦子）

翔太君のカレンダー

村野 絢子

2026 年のカレンダーが届いた。カレンダーの中では 17 歳で天国に移住した翔太君が今も楽しんで生きている。

翔太君は中畝常夫、治子さん夫妻の長男である。2 人は日本画家で美大の同級生。治子さんは常夫さんの物静かで優しい声、何よりも男らしくないのがいいと思った。大学院 2 年時結婚した。模写や修復の仕事をしながら、それぞれの作品を発表していた数年後、ロスオリンピックの年・長男翔太君誕生。重症心身障害のある翔太君の介助と仕事を 2 人で交代しながら続けた。4 年後ソウル大会の年に次男友男君、パリ大会の年に長女千明さんが生まれた。

3 人の子育てと仕事に追われる日々の様子を「障害者もいるよ、ひげのおじさん子育て日記」の題名でフェニックス社より出版さ

れている。治子さんの描くスケッチと 4 コマ漫画が楽しい。

2 人は交代で仕事に出かけ家に残る方が家事と育児を担当することにして、常夫さんは翔太君の通う重度障碍児施設・訓練会にも父子で出掛けた。

母子通園が当たり前なので始めは「お父さんはいいですよ」と遠慮していたお母さん達も子どもの介助、何でもやっていると対等に扱われるようになり仲間に入れてもらった。家の外でも「男だから」がないと楽になり自分がやってもカッコ悪いとは思わなくなっていた。

翔太が生まれ、発作や緊張が昼夜なく続く状態と傷害という言葉に振り回されてへとへとだったが、命を育てていると実感した。実に堂々と何もできないまま 16 歳になった彼こそ気負うことなく自分の能力できっちり生きているのではないかと思う。

次男友男も長女千明もほった

らかしでもよく育った。翔太がいたので手をかけられず運よく過干渉は避けられた。2002 年 4 月翔太は 17 歳で亡くなり、天国に移住した。2024 年友男は結婚し、千明は今ドイツで美術を学んでいる。

治子さんは翔太君のお世話になった NPO 法人「レスパイト・ケアサービス萌」の代表理事として毎年カレンダーを制作しています。「クスッと笑える」楽しいカレンダーです。お求めは、カレンダー・「ひげのおばさん育児日記」どちらも定価 1,000 円。村野絢子が承ります。



YMCA Today

■9月27日、「第39回東京YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2025」が都立木場公園で開催されました。当日は、43 チーム 276 人のランナーが参加した他、子どもたち、ボランティア、スタッフなど合わせて約 1,100 人が集った。また駅伝大会に加え、歩数計アプリを利用したウォーキング大会を 16 日間にわたり同時開催し、個人参加の「らくらくウォーク」に 184 人、チーム参加の「チームレース」に 25 チーム 292 人が参加した。益金は 4,503,000 円となり、チャリティーラン当日の募金箱には 34,287 円が寄せられました。益金は、東京 YMCA と全国 YMCA が行う障がい児支援プログラムのために用いる。

■10月4日、山中湖センターにて「ユニバーサルフェスタ」が開催され、参加者とスタッフあわせ

て 55 人が参加しました。車椅子の子どもたちをはじめ、様々な背景を持つ子どもたちがクライミングやモルック等のアクティビティを通して交流を深め活気あるイベントとなった。また、当日はパラクライマーの平井亮太選手が来場し、クライミングパフォーマンスを披露。開催にあたっては、山梨学院大学障害者スポーツゼミの学生をはじめ、多数の団体に協力をいただきました。

■10月11日～13日、三菱商事株式会社と協働し、発達障がいのある子どもたちを対象とした「三菱商事・東京 YMCA 秋の山中湖キャンプ」が実施。24 人の子どもたちが参加し、山中湖センターでのキャンプを満喫しました。

■11月4日より冬期・春期キャンプ・スクールの受付を開始します。スキーキャンプ、水泳、英語、リトミックなどの各種プログラムを準備しています。

■今後の主な行事予定

- ・「早天祈祷会」11月4日（山手センター／オンライン）
- ・「国際協力一斉街頭募金」11月15日 新宿駅周辺

担当主事 波々壁 賢

編集後記

長い夏がやっと終わると、慌ただしく秋の便りが舞い込みます。その代わりにワイズも動き出し、先月から他クラブへの訪問記が書けるようになりました。

体力が続く限り、行事に参加できることを願い、規則的な食事と頭の体操に励みたいものです。

(F.S)

